

国際ソロプチミストは(私たちは)、管理職、専門職に就いている女性の世界的組織で、人権と女性の地位を高める奉仕活動をしています。世界125の国と地域に3,000以上のクラブがあり、約9万人の会員が女性のために変化をもたらす奉仕活動を行っています。



SOROPTIMIST

Best for Women

*ロゴマークは女性と女児をサポートする団体のイメージを表しています。

■発行

2009年6月

■発行所

国際ソロプチミスト 沖縄

〒900-0015
那覇市久茂地2-10-20-301号

■発行責任者

新城 伸子

黒柳徹子さん講演「私の会った世界の子どもたち」

～発展途上国の子どもたちへ関心をもってほしい～



4月11日(土)那覇市民会館に於いて、国際ソロプチミスト沖縄の、文化講演会が行われました。

講師は、女優でユニセフ親善大使の黒柳徹子さん。演題は「私が会った世界の子どもたち」。

彼女のテレビでの活躍や社会福祉活動に対する献身的姿勢等に憧憬するファンも多く、開場前から行列が出来るほどでした。1,400人の入場者は、黒柳さんのテンポの早い、巧みな話術とユーモアに引き込まれ、会場いっぱい笑いと共に感につつまれました。

(講演要旨は3面に掲載)



おめでとう
花城貞江会員
城間緑会員
トシビー
皆で85歳の生年を祝う

花城貞江会員、城間緑会員、おめでとうございます。

国際ソロプチミスト沖縄現役、85歳生年祝を、2月17日、ザ・ナハテラスで催しました。お二人ともチャーター会員です。認証されて33年間の活動に歴史を築き上げて頂き、私達会員を導き育てて下さいました。私達会員の鑑です。これからもお元気で、奉仕活動、例会でお目にかかれる事を楽しみにしております。



国際親善交流会

～「嘉手納将校配偶者の会」の皆さんと～



去る4月22日に、嘉手納将校配偶者の会と、国際親善交流会が行われ、施設の中にあるセンター(児童クラブ)を見学いたしました。3歳未満の幼児が遊べる体育館、バレー教室等、設備が整えられておりました。また放課後、子供たち自身で選んだアート絵画やお料理コースで、伸び伸びと過ごしている様子がうかがわれました。

昼食会の後、テンガロンハットにバンダナをして、ダンスを楽しみながらの交流会でした。

石川美智子

第23回南リジョン大会



4月16日(木)、17日(金)の2日間、福岡のJALリゾートシーホークホテルで、96クラブ1600人の参加の下(SI沖縄から14人参加)盛大に行われました。アリスウェルズ会長の「世界では1日1ドルで生活している人が13億人以上おり、しかも70%以上は女性である。私達が活動しなければ、誰が取り組むでしょうか」というお話に、あらためて奉仕する貴さを感じました。

南リジョン大会での活動報告 スポンサーシップ委員会



SI沖縄はVC・ソサエティ・Sクラブの3団体とのつながり、年間継続しているプログラムを紹介しました。助成金は、VC20万円、ソサエティ10万円、Sクラブ10万円です。肢体不自由児・障害児のキャンプ(主催YMCA/通称アメンボキャンプ)は食事も自分でとれないほどの子に、4~5名のボランティアが付き添い、水泳、キャンプファイヤー等多彩なプログラムを、夏休みに2泊3日で行います。SI沖縄は2晩目の夕食、150名分のバーベキューを提供するのですが、今年で28回継続しています。沖縄肢体不自由児協会50周年式典で感謝状を受領しました。

認証記念日には、各クラブを招き中間活動報告を受け、和やかにSIアニバーサリーを祝います。

忘年会はVCが主催いたしますので、SI会員も参加、楽しく1年を振り返り、個人的な事など色々語り合います。

新年交流会は、4クラブでティータイムを利用して、活動報告、余興、全体でゲーム等を行っています。

| クラブ名 | 認証年度 | 認証年数 |
|-------------------|-------|------|
| SI沖縄 | 1975年 | 34年 |
| 沖縄VC | 1977年 | 32年 |
| 沖縄キリスト教学園シグマソサエティ | 1979年 | 30年 |
| 沖縄尚学高等学校Sクラブ | 1985年 | 24年 |

奉仕プログラム委員会



南リジョン大会で、奉仕委員会が企画した「デートDVから身を守る」プロジェクトについて、事例報告を行いましたのでお知らせ致します。

「かけがえのない友人の力となるために~デートDVから身を守る」

沖縄県は、全国的にもDV被害率の高い県となっている。クラブの継続的な活動として「ホットラインカードの配布や被害者自立支援のための檜の木基金」などを展開しているため、今回の活動の主な対象を沖縄県全体の中学生・高校生・大学生・専門学校の生徒15万人を対象とした。

今回の活動により、DV被害者支援、加害者対策の専門団体からも、SI沖縄が中心となって団体間との架け橋となる活動をしてほしいというお声を頂いた。

国際ソロプチミスト沖縄一陽や、沖縄ベンチャークラブなどの姉妹クラブの協力も頂き、組織としてアピールすることができた。

被害者・加害者の枠にとらわれない「友達、や、パートナーを尊重する私たちの視点」は、人権教育という観点からも達成でき、生徒だけではなく、保護者の教育にもつながった。

メディアの扱いが非常に多く、SI沖縄の活動を広く広報することが出来た。
《ラジオ、テレビをはじめ琉球新報5回 沖縄タイムス4回 宮古毎日1回》
奉仕プログラム委員長 崎原 未子

高里鈴代さん 南リジョン賞



第23回南リジョン大会で、SI沖縄が推薦した高里鈴代さんが「女性のために変化をもたらす賞」で見事栄冠に輝きました。SI沖縄推薦で初受賞です。高里さんは女性・子供の人権が守られる安全で平和な社会を築く活動を30余年続けてこられました。「この賞は自分1人の力ではなく、仲間のみなど力を合わせて取りくんだ活動の賞です。一番嬉しかったのは活動資金が頂けた事、そして何よりも国際ソロプチミストから表彰された事がとても嬉しかった」とステキな笑顔で話されていました。

また、今大会で惜しくも受賞はのがしましたが、沖縄クラブ賞として「女性に機会を与える賞」を阿部幸代さん、「ヴァイオレット・リチャードソン賞」を照屋咲さん(沖縄尚学高校Sクラブ会員)にさしあげました。

渡名喜よし子会員 春の叙勲を受賞



長年の社会教育活動の功勞により旭日双光章を受章されました。おめでとうございます。

安里カツ子副知事へ 女性栄誉賞



長年にわたり、一貫して働く女性の地位向上・労働条件の整備・企業に於ける男女雇用格差の是正に貢献してきました。現在副知事として諸問題に取り組んで頑張っておられます。

新春交流会

恒例の新春交流会が1月31日那覇セントラルホテルで行われました。国際ソロプチミスト沖縄の会員と、支援している沖縄ベンチャークラブ・ソサエティ・Sクラブ総計52名が一堂に集い、1年間の各クラブの奉仕活動報告を行い、楽しい余興で、明るく和気あいあいと過ごし、最後にSクラブのハンドベル演奏でしめくりました。年一度の情報交換で交流を深めました。



講演会 デートDVの根底にあるものと地域性を探る



講師 渡會 睦子先生
山形県は、人工中絶が多いことがわかり、性問題

3月7日(土)県立看護大学大講義室で、DV防止講演会を持ちました。講師の東京医療保健大学の渡會睦子先生は、郷里山形県の保健師として7年間、地域の課題「人工中絶」問題に取り組んで来られた経験を持ち現在は、大学で、性教育やデートDV等の講座を持っておられます。

に取り組むことになったこと。今日の日本の風俗、性問題の蔓延は、継続的、持続的な指導が必要。また、デートDVについては、一番大事なコンセプトは自分を大切にすること。自分を大切にできなければ、将来の自分を大切に出来ないし、成人期、老年期を描けない。

小さい時に、相手を大事にすることや、自分を大切にすることを学ばさなければならぬ。性教育は、生きるための心を学ぶ教育であり、生命の教育であることを強調された。

黒柳徹子さん 講演要旨



ユニセフの大使として、さまざまな国を訪問しました。発展途上国の子どもたち、内戦や民族対立、自然災害など、十分の一が何らかの困難の中にいます。

1日に600人の子が死んでいたタンザニアでは、6歳の子が地を這っていました。幼児期にお母さんのおっぱいが出なくて、脳に栄養が行かなくて、脳の発達が遅れ、心身の発育が阻害されたのです。脳の指令がないから地を這っていたのです。

エチオピアには内戦の後行きましたが、3,500人の村にソマリアからの難民が押し寄せ7万人余になっていました。あんなにやせ

た子見たことない。アバラ骨が見え、頭髪も抜けていて、膝の皿もがい骨のようでした。平均体重が70%の子に食べ物を与えるようになっていて、配給を待つ子たち、争うこともなく、じっと並んでいるのです。ちょっと煮沸した、にごった食べ物をもらうのです。難民地へやっとの思いで辿り着いたのに、無念にもこと切れる子がいます。その子の塔の目印にする木もない。この不公平に涙しました。日本人がぜいたくするのもかまいません。ただ世界中に、このような子どもたちがたくさんいることに、思いをよせてほしいと願うものです。(省略)

いろいろな国の子ども達を見て参りましたが、どんな状況でも子供は生きています。心清らかなままで、まわりを信頼し死んでいったのです。親が殺される時でさえ、自分が悪いからだ、自分を責めるのです。



日本の子、自ら生命を絶ちます。逆もあります。その子たちが元気で、前向きに生きて行くように後押しすべきだと思います。生きていることが、どんなに有り難く、幸せなことか。

人間として生まれて来たからには、ちょっとでも人のためにすることだと思います。今日お話した世界の子ども達に、関心を持っていただきたいと願うものです。

文責 喜舎場 直子

DV被害者自立支援のための檜の木基金収支報告書

(平成20年10月1日~平成21年3月31日)

| 収入 | 支出 |
|-----------------|------------------|
| 平成20年度前期より繰越金 | 支援 8件 530,000円 |
| 基金 1,000,000円 | 手数料 1件 105円 |
| 運用資金 1,947,577円 | 合計 530,105円 |
| 今期募金 228,006円 | |
| 返済金 300,000円 | ※20年8号、20年11号の方は |
| 銀行利息 1,547円 | 全額返済されました。 |
| 合計 3,477,130円 | |

平成21年度への繰越金 2,947,025円

募金にご協力くださった方々に感謝申し上げます。

檜の木基金委員会委員長 大城 光代

